

# 三中図書館だより



令和4年度 No. 5  
8月5日 図書文化委員会  
学校司書 発行

夏休み前に、読書感想文の相談に来てくれた生徒がいました。このお便りを見て、「これ読んでから書きたいです」と言ってくれた子もいて、とてもうれしかったです。夏休みに入ってから、部活動のあとに、感想文用の本と自分が読みたい本の2冊を借りていく生徒もいました。8月中も閉庁中以外は毎週木曜日に来ているので、よかったら来てください。

## つながる読書

読書ページ総数 **31,735 ページ**

順位ページ数

- 1位 3,789 2年 知家 日菜乃さん
- 2位 3,496 3年 松井 菜乃華さん
- 3位 3,153 3年 権元 沙耶さん



## 新聞、読んでいますか？



みなさんは、毎日の生活の中で、どのくらい新聞を読んでいますか？ 自宅ではどうでしょうか。学校図書館には、「読売中高生新聞」が置いてあり、2年生の女子を中心に毎週読みに来ています。好きな分野の記事が載っているという理由もあると思いますが、習慣になっているのは良いことだなあと思っています。

中高生新聞の本コーナーに「キミ本大賞」というのがあります。最近、過去の大賞作品が載っているのを見つけた。1冊以外は学校図書館にもあったので、展示しました。どの作品も感想文にぴったりですよ。



テレビのニュースや新聞でも取り上げられていましたが、石川県も「夜間中学」開設に向けて動き始めました。記事を読んで、夜間中学を舞台にした小説を思い出しました。

この記事は北國新聞の記事です。2階の理科室前に置いてあります。新聞と重ねて読むことで、学びがより一層深まると思っています。



孫の優菜は、けがをしたおばあちゃんの付き添いをするために、一緒に夜間中学に通うことに。祖母は、戦後、家計を支えるために働き、学校に通えなかった。今からでも遅くない、自分で読み書きが出来るようになりたい、と思い、夜間中学に入学することに。そこには、不登校の少年や外国人、祖母よりも年上のおじいさんがいた。「どうして勉強するのか、なぜ学校へ行くのか」優菜はここで過ごすことで、自分自身をみつめ直します。